



平成24年8月9日

各 位

会社名 中央化学株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 宇川 進
 (JASDAQ・コード7895)
 問合せ先 常務執行役員 経営企画担当 中野 保則
 役職・氏名 経営企画本部長兼広報IR部長
 電 話 048-540-2805

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年2月13日に公表しました業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成24年12月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	66,800	3,300	2,700	2,200	109.19
今回修正予想 (B)	60,000	1,600	1,200	900	44.67
増減額 (B-A)	△ 6,800	△ 1,700	△ 1,500	△ 1,300	
増減率 (%)	△ 10.2	△51.5	△55.6	△59.1	
(ご参考) 前期実績 (平成23年12月期)	62,480	2,610	2,321	1,686	83.69

2. 平成24年12月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	60,800	2,800	2,400	1,900	94.30
今回修正予想 (B)	55,000	1,300	1,000	700	34.74
増減額 (B-A)	△ 5,800	△ 1,500	△ 1,400	△ 1,200	
増減率 (%)	△ 9.5	△53.6	△58.3	△63.2	
(ご参考) 前期実績 (平成23年12月期)	57,294	2,270	1,901	1,564	77.66

3. 修正の理由

当食品包装容器業界に極めて関連性の深いスーパー・コンビニエンスストア・百貨店・その他食品加工業界においては、欧州財政不安の継続や国内での消費税引上げ懸念・年金制度改革議論などによる景気先行きへの不安感の強まりなどから消費マインドは伸び悩み、デフレ・低価格志向・節約志向が進行する状況となっております。

当社も、その影響を受け、当社製品の販売数量・販売価格が所期の目標を下回る状況となっており、今後もこの状況が続くものと予想されます。第3四半期以降、当社独自素材であるSD・SP P（製品名）の市場投入強化、大阪・名古屋・東京・福岡の4都市での商談会開催などにより売上拡大に努めてまいりますが、デフレ・低価格志向・節約志向による数量減少・販売価格低下の影響を全額吸収することは難しく、通期業績が当初予想を下回る見通しです。

4. 配当予想の修正

	年間配当金（円）				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
前回予想 (平成24年2月13日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	—	—
当期実績	—	0.00	—		
前期実績(平成23年12月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

5. 配当予想修正の理由

当社は、収益の状況に応じた配当を行うことを基本方針とし、安定的な配当の維持、将来の事業展開に備えた内部留保の充実、財務体質の強化等を考慮しながら総合的に判断・決定していくこととしております。

第2四半期末の配当につきましては、直近までの業績及び中国事業強化と日本における事業基盤強化にむけた設備投資の実行を見据え、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきます。なお、平成24年12月期期末配当につきましては、今後の業績動向を見極めつつ検討することとしており、未定としております。

(注) 本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき将来予測を判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上